県政広報 ふくい
毎月第4日曜発行
2019．2

あらかじめ、
幸せだったらいいな。
幸せ度いちばん福井県

特集　人口減少に歯止めをかける

越前和紙 2019年の漉き初め　～今年は伝統工芸に注目～

福井が誇る伝統工芸「越前和紙」。1月5日に、卯立の工芸館（越前市）で漉き初め式が行われました。今年の秋にサンドーム福井（越前市）で開催する国際北陸工芸サミットでは、メイン企画として越前和紙とオランダの国際的芸術家テオ・ヤンセン氏がコラボレートした作品を展示。越前和紙をはじめとする福井の伝統工芸の魅力を世界に発信します。

テオ・ヤンセン氏が越前和紙を使って制作した作品「オルディス（WING）」

特集

人口減少に歯止めをかける
～結婚・子育てやU・Iターンの支援を拡大～

福井県の人口は平成30年12月1日時点で77・4万人。平成12年の82・9万人をピークに減少が続いています。

人口減少に歯止めをかけるため、県では平成27年に「ふくい創生・人口減少対策戦略」を策定。結婚・子育て支援やU・Iターンの促進、地域のにぎわい創出など、自然減や社会減の改善に向けた基本方針を定め、それに基づくさまざまな施策を進めています。

結婚・子育て支援を拡大

素敵な出会いを提供

50歳時点で結婚したことがない人の割合を示す生涯未婚率。平成27年の国勢調査において、福井県は低い方から数えて男性が全国3位、女性が1位と結婚の希望が叶いやすい県です。それでも未婚者は年々増加。県内未婚者の8割は結婚を希望しているものの、「まだ適当な相手にめぐり会っていない」ことなどを理由に独身でいる人が大勢います。

県では、結婚を希望する未婚者に出会いの場を提供するため、民生委員や住職など地域で結婚を応援する皆さんを「地域の縁結びさん」として登録。縁結びさんは、日頃の活動で得た情報を基に相手を紹介したり、お見合いに立ち会うなどのボランティア活動をしています。また、職場のつながりを生かした縁結びを進めてもらうため、結婚を望む社員を応援する「ふくい結婚応援企業」を募集。企業に「職場の縁結びさん」を置き、婚活イベントへの参加などを呼び掛けています。

縁結びさんに相談

これらの支援により、平成29年度は過去最多となる133組が結婚しました。

今年度は、職場の縁結びさんの活動をサポートするため、専任の職員「婚(こん)シェルジュ」を新たに配置。結婚応援企業を訪問し、企業の枠を超えた交流会や合同婚活イベントの開催を働きかけています。交流会には、上半期で既に1200人以上の皆さんが参加。働く皆さんの結婚を後押ししています。

問女性活躍推進課
☎0776-20-0362
FAX0776-20-0632

子育て支援を拡大

県では、経済的な負担を気にせず出産や子育てができる環境を整えるため、第3子の保育料を無料にする「ふくい3人っ子応援プロジェクト」など、全国に先駆けた支援を行ってきました。今年度からは、ひとり親家庭や不妊治療に対する支援を拡大。ひとり親家庭が安心して子育てができるよう、市町と連携して高校生の通学にかかる交通費や放課後児童クラブの利用料などを支援しているほか、子どもを授かりにくい夫婦に対し、夫婦で受けた不妊検査にかかる費用を助成しています。(お知らせ・4ページ参照)

問子ども家庭課
☎0776-20-0341
FAX0776-20-0640

U・Iターンの支援を拡大

毎年、大勢の若者が進学などで県外へ移り住むのに対し、福井に戻って就職する若者は少なく、人口流出の大きな原因となっています。県外に出た若者のUターン就職を促すため、県では、都市圏に就職相談窓口を設けているほか、U・Iターン経験者との交流会などを行ってきました。その成果として、平成30年春の学生Uターン率は31・5%と、調査を始めた平成14年以降最も高い数値を記録。社会人になってから福井にU・Iターンした「新ふくい人」も10年前の170人と比べ4倍の686人となりました。県では新たに、県外に進学した学生約1800人に、県内企業の情報を直接届ける取り組みを始めたほか、保護者向けの企業見学ツアーを開催。県内にも優れた企業が数多くあることを伝え、U・Iターンの促進へとつなげています。

問若者・定住支援課
☎0776-20-0387
FAX0776-20-0644

移住のきっかけを提供

県外の若者が将来福井へ移住するきっかけを作るため、県では今年度、福井との関わりを持ってもらうための施策を進める市町を支援。4つの市町が、都市部の学生を対象に、県内企業の見学会や地元住民との交流会などを開催しています。

9月には、東京から福井市に来た学生が、一乗、東郷地区の皆さんと地域の暮らしについて意見交換をしたり、市内の企業を訪問するなど、福井の暮らしぶりや仕事に触れました。

また、県外に住んでいても福井に興味を持って応援してくれる人と協力し、まちづくりや地域の魅力発信などを行う市町を支援しています。

例えば鯖江市では、地場産業の人材不足を解消するため、ものづくり企業の情報発信に協力してくれる人材を募集しました。出版社などに勤める都市部の皆さんが鯖江に集まり、企業がもつ高い技術力や暮らしの様子を取材。外からの視点で見つけた地場産業の魅力をホームページで公開し、全国へPRしています。

越前漆器について取材

問若者・定住支援課
☎0776-20-0638
FAX0776-20-0644

問地域交流推進課
☎0776-20-0759
FAX0776-20-0644

知事コラム

知事　西川 一誠

県では、これまでも将来を見通し、着実に独自の人口減少対策を進めてきました。地域全体で若者の結婚を応援する「めいわくありがた縁結び」や、一時的な預かり保育を行う「すみずみ子育てサポート」は、全国の自治体に取り入れられ、人口減少対策の事業モデルとなっています。

人口減少に歯止めをかけるには、長い時間を要します。県民の皆さんの力を結集して、これまで以上に人口減少対策に重点を置いた施策を進めていきます。

婚活してみませんか

婚活応援ポータルサイト「ふくい婚活カフェ」

出会い交流イベントや地域の縁結びさんによる定例相談会など、婚活に役立つ情報をお知らせします。

ふくい婚活カフェ　検索

福井で働こう

ふるさと企業魅力発見キャリアフェア

3月3日(日)　11時～17時

所 サンドーム福井(越前市瓜生町)

詳 県内企業約260社が参加する過去最大規模の合同就職説明会。U・Iターン希望者も参加できます。

問 若者・定住支援課
☎0776-20-0387　FAX0776-20-0644

県政 HOT NEWS

原子力災害への備えを万全に
― 原子力災害制圧道路が初めて開通 ―

原子力発電所で万が一事故が発生した場合に、迅速に事故対応を行えるよう、県では、原子力災害制圧道路の整備を進めています。

12月22日には、県道 竹波立石縄間(のうま)線の「立石トンネル」(敦賀市立石町～明神間(みょうじん))が開通。地元の皆さんの生活道路としても利用され、安全で快適な通行ができるようになりました。制圧道路は原子力発電所が立地する3つの半島で整備を進めており、3月にはさらに2か所の開通を予定しています。

国体・障スポの感動をもう一度
― はぴりゅうフェスタ２０１８を開催 ―

福井県民が一体となって成功へつないだ「福井しあわせ元気」国体・障スポ。県では、選手への応援やボランティアなどに携わった皆さんに感謝するイベントを、12月16日にサンドーム福井で行いました。

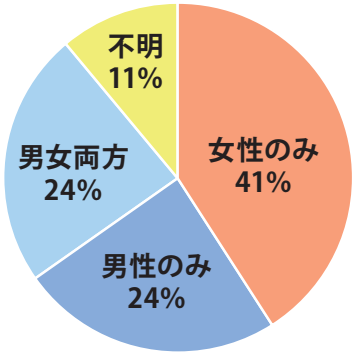
大会運営を支えた皆さんの表彰や総合開会式で披露した式典演技の再演を行ったほか、国体・障スポのハイライト映像を上映。当時の感動を再び分かち合いました。また、国体・障スポ競技の体験会も実施。約1万人が訪れ、スポーツの魅力を改めて感じていました。

お知らせ

不妊検査は夫婦そろって受けましょう

不妊の原因の半数は男性にもあります。そのため県では今年度から、夫婦そろって受けた不妊検査や治療にかかる費用の一部を助成しています。

不妊原因の男女内訳



夫婦で受けた不妊検査や治療にかかる費用を助成します

対 象 次のすべてに該当する夫婦
- ☑ 検査開始時に結婚から3年以内の夫婦で、妻の年齢が40歳未満
- ☑ 夫婦両方の検査開始時が平成30年1月1日以降
- ☑ 妻(夫)の検査開始日から3か月以内に、夫(妻)が検査を開始
- ☑ 福井県内に3か月以上住んでいること

助成対象 平成30年４月１日以降で、検査開始日から２年以内の費用

助成金額 自己負担額の１/２(上限５万円)　※夫婦１組につき１回限り

申請時期 次のいずれかに該当する日から３か月以内に申請
- ・夫婦の自己負担額が10万円を超えたとき
- ・検査や治療が終了したとき(夫婦のいずれか遅い方)
- ・夫婦いずれか早い方の検査開始日から２年を経過したとき

申請方法 必要書類を用意して郵送
〒910-8580 福井県子ども家庭課(住所記載なしで届きます)

福井県　不妊検査　検索

問 子ども家庭課　☎0776-20-0341　FAX0776-20-0640

ふくいインフォ

県立施設情報

教育博物館

明治時代の教科書を読んでみよう 申

2月24日(日)13時～14時30分

詳今では使われていない変体仮名で書かれた明治時代前半の教科書を読みます。

対中学生以上 定先着20名

受2月22日(金)まで

所坂井市春江町江留上緑8-1

問☎0776-58-2250 FAX58-2251

開9時～17時(入館は16時30分まで)

休1月28、29日、2月4、12、18、25日

芦原青年の家

魚のからだのしくみ～あんな小さな煮干しを解剖できるの～ 申¥

2月16日(土)10時～12時

対小学4～6年生

定20名(申込多数の場合抽選)

料50円 受2月2日(土)まで

じっくり発酵させた ふっくらこんがり石窯パン 申¥

2月24日(日)、3月2日(土)

各日9時～13時

対小学生とその家族、友人グループ

定各日11組(申込多数の場合抽選)

料1400円/組 受2月9日(土)まで

所あわら市北潟153-227

問☎0776-79-1001 FAX79-1005

休1月28日、2月4、12、17、25日

エンゼルランドふくい

白井淳夫＆武田幸夫クインテットライブ～STAR&JAZZ～ ¥

2月16日(土)、17日(日)18時～19時

詳プラネタリウムの星空の下でジャズの名曲を楽しめます。

対中学生以上 定各回先着225名

料大人500円、中高生250円

受前売券を販売中

所坂井市春江町東太郎丸3-1

問☎0776-51-8000 FAX51-6666

開9時30分～17時

休1月28日、2月4、12、18、25日

終活に関する県民公開講座

2月24日(日)14時～16時15分

所フェニックス・プラザ(福井市田原)

詳在宅医療や相続、エンディングノートの使い方などについて学びます。

定先着500名

問長寿福祉課

☎0776-20-0332 FAX20-0642

三ツ星若狭牛フェア

2月28日(木)まで

詳対象店舗で三ツ星若狭牛メニューを2つ以上食べた方に、抽選で豪華賞品をプレゼントします。

詳しくは 三ツ星若狭牛フェア 検索

問生産振興課

☎0776-20-0439 FAX20-0650

ふくい移住者交流会 申¥

3月10日(日)11時～14時30分

所うるしの里会館(鯖江市西袋町)

詳漆器の絵付け体験や郷土料理の昼食、お話会を通して、福井での生活で感じた楽しさや不安を共有できます。

対県内に移住した20～40歳代の方とその家族

定先着30名 料600円

受2月1日(金)～3月7日(木)

他無料託児所あり(事前申込必要)

問福井Uターンセンター

☎0776-43-6295

ふくい移住ナビ 検索

JALで行く東京特別企画参加者募集 申

4月24日(水)出発まで

※3月21日(木・祝)～30日(土)出発を除く

詳航空利用調査のアンケートに協力してもらう東京旅行体験の参加者を募集します。参加者は小松～羽田往復航空券とホテルがセットで1泊2日20200円から利用できます。

対県内に在住または在勤する人

問小松空港協議会(石川県空港企画課内)

☎076-225-1337 FAX225-1339

小松空港 JALで行く東京特別企画 検索

講座・イベント情報

壊れたおもちゃを無料で修理します

◇こどもの国(敦賀市櫛川)
2月2日(土) 受13時～15時

◇エコネットさばえ(鯖江市中野町)
2月2日(土)、16日(土)、17日(日)
受13時30分～16時

◇糺集会所(鯖江市糺町)
2月14日(木)、23日(土)、28日(木)
受9時～17時

◇総合グリーンセンター(坂井市丸岡町楽間)
2月17日(日) 受10時～13時

◇こども家族館(おおい町成海)
2月17日(日) 受13時～15時

◇福井市立図書館(福井市文京)
2月24日(日) 受10時～13時

■おもちゃドクター養成講座 申

2月23日(土)13時30分～16時30分

所越前市文化センター(越前市高瀬)

詳壊れたおもちゃを修理するボランティアの養成講座

定先着20名 受2月21日(木)まで

問循環社会推進課

☎0776-20-0317 FAX20-0679

福井ライフ・アカデミー講座 申

◇ゆうあいシアター

2月9日(土)、10日(日)
10時～12時5分、14時～16時5分

詳乳がんと戦う女性を描いた映画「Mayu(まゆ)-ココロの星-」を上映

◇多様な命つながる九頭竜川へ～サクラマスを指標種として豊かな生態系を未来に～

2月16日(土)14時～15時30分

詳講師:サクラマスレストレーション代表 安田龍司さん

◇ペットブームから見える日本家族の"リアル"

2月27日(水)14時～15時30分

詳講師:中央大学教授 山田昌弘さん

所ユー・アイふくい(福井市下六条町)

定各回先着60名 受各開催日の前日まで

問福井ライフ・アカデミー本部

☎0776-41-4206 FAX41-4201

申事前申込みが必要な催し ¥有料の催し 所場所・会場 詳詳細・内容 対対象者 定定員 料料金 受受付期間・方法 他その他 問問合わせ・申込み先 開開館時間 休1、2月の休館日

各地の催し

2/2[土]・3[日] 越前おおの冬物語

雪見灯ろうの光で街並みが幻想的な雰囲気に包まれます。色鮮やかな花火も楽しめます。

所越前おおの結ステーション周辺(大野市明倫町)
問大野市観光協会
☎0779-65-5521 FAX65-8635

2/11[月・祝]まで すまいるスケート「ハピリンク」

福井駅前で気軽にスケートが楽しめます。9日にはスケートショーも開催します。

所ハピリン ハピテラス(福井市中央)
問まちづくり福井
☎0776-30-0330 FAX30-0505

2/20[水] すりばちやいと

すり鉢型の護摩炉を頭に被せ炎をすえる加持祈祷。受験生の合格祈願参拝も増えています。

所中道院(鯖江市長泉寺町)
問中道院
☎0778-51-1870 FAX51-1870

2/21[木]▶3/26[火] 右近家ひな人形展

北前船の船主として栄えた右近家に伝わる大正時代の貴重なひな人形を紹介しています。

所北前船主の館右近家(南越前町河野)
問北前船主の館右近家
☎0778-48-2196 FAX48-2195

2/23[土]・24[日] 勝山左義長まつり

300年以上の歴史がある勝山の奇祭。櫓に乗った大人や子供が、笛や三味線に合わせて踊ります。

所勝山市市街地、弁天緑地
問勝山左義長まつり実行委員会
☎0779-88-8117 FAX88-1119

福井県観光情報ホームページ
ふくいドットコム 検索

海浜自然センター

バードウオッチング「オジロワシとコハクチョウを観察しよう」申¥
2月3日(日)9時～11時30分
定先着30名 料100円

海の生き物の不思議に迫る！冬のおはなし会「クラゲ」申¥
2月24日(日)13時30分～15時
詳専門家からクラゲの話を聞き、クラゲのクラフトを作ります。
定先着50名 料100円
他小学生以下は保護者同伴

所若狭町世久見18-2
問☎0770-46-1101 FAX46-9000
開9時～17時
休1月28日、2月4、12、18、25日

若狭歴史博物館

テーマ展「くらべてみよう ちょっと昔と大昔の道具」
3月3日(日)まで
詳近現代に使われていた道具と、発掘調査で見つかった原始・古代の遺物を展示します。
所小浜市遠敷2-104
問☎0770-56-0525 FAX56-4510
開9時～17時(入館は16時30分まで)
料常設展300円(高校生以下・70歳以上無料)
休1月28日、2月12、25日

こども家族館

わいわいものづくりスペシャル「アニマルフォトスタンド」申¥
2月16日(土)、17日(日)
10時30分～11時30分
詳カラフルな紙粘土を使って、動物の形をした写真立てを作ります。
定先着20作品 料400円/作品

みんなでクッキングスペシャル「アイシングクッキー」申¥
2月17日(日)10時～
定先着8家族 料100円/人
所おおい町成海1-1-1
問☎0770-77-3211 FAX77-3255
開9時30分～17時
休1月28日、2月4、12、18、25日

鯖江青年の家

越前和紙で春待ちカレンダーをつくろう申¥
2月16日(土)9時15分～11時30分
対小学生とその家族 定15組
料800円/セット、50円/人(保険料)
受2月9日(土)まで

所鯖江市上野田町19-1
問☎0778-62-1214 FAX62-1215
休1月28日、2月4、12、18、25日

越前古窯博物館

特別展「水野コレクション写真展～お祝いごと編～」¥
2月11日(月・祝)まで
詳越前古窯研究の第一人者である故・水野九右衛門氏の研究人生における「お祝いごと」をテーマに、写真や受賞記念品を展示します。
料200円(常設展料金を含む)
所越前町小曽原107-1-169
問☎0778-32-3262 FAX32-3263
開9時～17時(入館は16時30分まで)
料資料館常設展200円
(高校生以下・70歳以上無料)
休1月28日、2月4、12、18、25日

年縞博物館

開館記念国際シンポジウム
2月11日(月・祝)14時～16時
所リブラ若狭(若狭町中央)
詳年縞を研究する科学者の皆さんが、世界をリードする最前線の研究を分かりやすく紹介します。

所若狭町鳥浜122-12-1
問☎0770-45-0456 FAX45-3680
開9時～17時(入館は16時30分まで)
料常設展500円(小中高生200円)
休火曜

ふくい健康の森

ふれあいコンサート微風バラエティショー
2月17日(日)14時～15時
詳トランペット・尺八の演奏や舞踊、マジックなどを披露します。
定先着250名
■生きがい交流センター
所福井市真栗町47-51
問☎0776-98-5801 FAX98-5804
開9時～21時
※温泉利用は10時～20時30分(受付は20時まで)

一乗谷朝倉氏遺跡資料館

特別公開展「戦国城下町一乗谷のくらし～守り伝える文化財～」
4月23日(火)まで
詳一乗谷から出土した遺物を①木製品、②冬の暮らしの道具、③金属製品のテーマに分けて公開します。

所福井市安波賀町4-10
問☎0776-41-2301 FAX41-2494
開9時～17時(入館は16時30分まで)
料100円(高校生以下・70歳以上無料)
休2月20日

歴史博物館

越前萬歳(まんざい)－新しい年を言祝(ことほ)ぐ－
2月26日(火)まで
詳越前市を中心に古くから伝わる新春の祝福芸「越前萬歳」を紹介します。

ふくい天神伝説をめぐる
2月26日(火)まで
詳県内各地に祀られている天神様の伝説や行事を紹介します。
所福井市大宮2-19-15
問☎0776-22-4675 FAX22-4694
開9時～17時(入館は16時30分まで)
料常設展100円(高校生以下・70歳以上無料)
休2月13、27日

県立武道館

後期武道学園体験入学申¥
2月21日(木)～23日(土)
詳柔道、剣道、空手道、弓道、なぎなた、銃剣道、相撲の体験入学
対小学生以上(弓道は小学4年生以上)
料学生60円、一般140円(施設利用料)
所福井市三ツ屋町8-1-1
問☎0776-26-9400 FAX26-9401
開8時30分～21時(日祝17時まで)
※講座の受付は閉館の1時間前まで
休1月28日、2月4、12、18、25日

すこやかシルバー病院

心も体も元気に健康に～認知症の理解、予防、支援～申
2月22日(金)13時30分～15時
詳認知症の危険因子や生活の中で脳を鍛える方法について説明します。
定先着50名
所福井市島寺町93-6
問☎0776-98-2700 FAX98-2793

県立図書館

姉妹図書館協定20周年「浙江図書館と福井県立図書館展」
2月27日(水)まで
詳中国浙江省図書館と県立図書館の協定締結20周年を記念し、これまでの交流や福井県と浙江省の交流に関する本・パネルを展示します。
所福井市下馬町51-11
問☎0776-33-8860 FAX33-8861
開9時～19時(土日祝は18時まで)
休1月28日、2月4、12、18、25、28日

ふるさと文学館

企画展「山川登美子と『明星(みょうじょう)』歌人展」
4月7日(日)まで
詳小浜出身の歌人山川登美子や文芸誌「明星」で同時期に活躍した歌人を紹介します。

与謝野晶子らとの合同詩歌集「恋衣」

◇今野寿美(こんのすみ)氏文学カフェ¥
2月16日(土)14時～15時30分
詳歌誌「りとむ」の創刊者である歌人 今野寿美さんが山川登美子と与謝野晶子について紹介します。
料250円(飲み物代)
所福井市下馬町51-11
問☎0776-33-8866 FAX33-8861
開、休県立図書館と同じ

総合グリーンセンター

節分イルミネーションコンサート
2月3日(日)17時～18時
詳展示温室で、ウインドシンセサイザーの演奏と坂井市住みます芸人のお笑いライブが楽しめます。

初めての多肉植物とサボテン申¥
2月24日(日)13時30分～15時30分
詳苗の選び方や管理のポイントを学び、寄せ植えを作ります。

定先着30名
料2000円
所坂井市丸岡町楽間15
問☎0776-67-0002 FAX67-0004
開9時～16時30分
休1月28日、2月4、12、18、25日

恐竜博物館

博物館自然教室「獣脚類のからだを調べよう」申
2月10日(日)13時～15時
詳さまざまな獣脚類の骨格を観察し、その特徴について調べます。
対小学生以上 定先着20名
所勝山市村岡町寺尾51-11
問☎0779-88-0001 FAX88-8700
開9時～17時(入館は16時30分まで)
料常設展720円(大高生410円、中小生260円)
休2月13、27日

自然保護センター

里山観察ウオーク「スノーシューで森の探検！」
2月9日(土)10時～14時
※荒天時は翌日に延期
詳春に向けて森の中で活動し続ける動物の痕跡や、冬を越すために形を工夫している樹木の芽を探します。
他中学生以下は保護者同伴

所大野市南六呂師169-11-2
問☎0779-67-1655 FAX67-1656
開9時～17時(入館は16時30分まで)
休1月28日、2月4、12、18、25日

県政広報 ふくい
2019年1月27日発行
通巻58号
発行 福井県広報課
kouhou@pref.fukui.lg.jp
TEL 0776-20-0220
FAX 0776-20-0621
福井市大手3丁目17-1
毎月第4日曜発行
福井新聞、日刊県民福井へ折り込み
県内の公共施設やコンビニ等にも配架

食の國（くに）ふくい

かんたんレシピ　牡蠣（かき）のカレークリーム煮

レシピ提供：今月のおうちごはん（http://ouchigohan.recipes/）

材料（4人分・調理時間約20分）

牡蠣	2パック	バター	40グラム
塩、こしょう	適量	カレー粉	大さじ2
小麦粉	大さじ3	牛乳	400ml
玉ねぎ	1/2個	パセリ	適量

作り方

1. 牡蠣をボウルに入れて流水で洗い、ざるにあげ水気をペーパーで拭く。塩、こしょうで下味をつけ、小麦粉をまぶす。
2. 玉ねぎを粗くみじん切りにする。
3. 熱したフライパンにバターを入れ、2を炒めながら1を並べ入れて、焦げ目がつくまで両面を焼く。全体に火が通ったらカレー粉を加えて炒め合わせる。
4. 3に牛乳を加え、とろみがついてきたら塩、こしょうを入れて味を調える。
5. 器に盛り、パセリを散らして完成！

ふくいの美味しい食材　若狭の牡蠣

ミネラルや亜鉛などの栄養素が豊富なため「海のミルク」とも呼ばれている牡蠣。県内では、昭和5年頃から小浜湾を中心に養殖され、若狭の冬の味覚として親しまれています。

波が穏やかで夏と冬の水温差が大きい小浜湾。稚貝が育ちやすく栄養を蓄えやすい環境であるため、おいしくて立派な養殖牡蠣が育ちます。

県政広報ふくい アンケート

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で、

金の梅ブリュレバームクーヘン

を**12名様**にプレゼントします。

南越前町河野の完熟梅を使った無添加ジャム「金の梅」をたっぷりと塗ったバームクーヘン。こんがりと焼き目をつけて香り高いブリュレ仕立てにしました。

応募締切　2019年 **2月23日（土）**

応募方法　アンケートの回答と住所・氏名・年齢・性別・電話番号（お忘れなく）を必ず記入の上、郵便はがきまたは県のホームページでご応募ください。（お一人1通まで）

※賞品の発送をもって当選発表に代えさせていただきます。賞品は3月中に発送する予定です。

応募先　〒910-8580 県広報課 県政広報ふくい（住所は記載不要）

ホームページでの応募は 県政広報ふくい 検索

Q1. 県政広報ふくいを読んだご感想を教えてください。

1.大変良い　2.良い　3.普通
4.あまり良くない　5.良くない

Q2. 良かった記事を教えてください。（複数回答可）

1.表紙　2.特集
3.県政HOT NEWS　4.お知らせ
5.ふくいインフォ　6.各地の催し
7.食の國ふくい

Q3. 県政広報ふくいで今後取り上げてほしい県政のテーマを教えてください。（自由記述）

Q4. 県政広報ふくいへのご意見をお願いします。（自由記述）

編集後記

越前和紙の初漉きを取材しに行きました。今年一年の産地の繁栄を祈願し、丁寧に紙を漉いていく職人さんの顔は真剣そのもの。1500年以上続く越前和紙の伝統の技を間近に見て、私も身の引き締まる思いがしました。

マチイロ
「県政広報ふくい」を
スマートフォンにお届け